

現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成30年冬 vol.012

後援会にご加入ください

おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者 小田博士の 市政かわら版



12月議会 パトロールや美化活動時に発見作業 落書き撲滅へ取り組み強化

市内で最近、落書きが目立ち始めています。駅前のガードレール、幹線道路沿いの住宅の壁面、電柱、お店のシャッター、歩道橋…。気をつけて街中を見回すと様々な場所で見つかります。大変残念です。

「割れ窓理論」をご存知でしょうか。割れた窓を放置しておく、管理が行き届いていないと見なされて街が荒れてしまい、治安が悪化するという犯罪理論です。米国のニューヨーク市では、落書きを消すなどして治安回復に結び付けました。地域環境を向上するには、美しい街づくりが不可欠です。



このような問題意識のもと、私は大和市議会12月定例会で、落書き問題を取り上げました。

これに対し、市の環境農政部長は「(落書きを発見するために)パトロールで注視していく。クリーンキャンペーン(地域美化活動)で、参加する市民にご協力いただくことを検討する」と答弁し、対策を強化する考えを示しました。関連条例の制定については「多くの課題があり、他市を参考に調査研究する」としました。

行政と市民が一体となり地域ぐるみで解決することが必要です。

その他の質疑(要旨)

【「全国初」事業の長短】(市長答弁)

Q. 本市で「全国初」の取り組みが多い理由は？

A. 超高齢化と少子化の同時進行、大規模災害への備え、技術革新への対応など多種多様な課題がある。積極的かつスピード感をもって対応する必要があり、前例にとらわれない新たな視点で検討しなければ対処できない。新しい事業は結果として全国初や県内初になることもあれば、他市と同様の事業になることもある。市民の皆様にとって必然の道筋と感じていただけるよう市政を運営する所存だ。

【所有者不明土地】(総務部長答弁)

Q. 「所有者不明土地」の固定資産税上の件数や課題は？

A. 所有者が不明なものは6件ある。適正に課税しているが、(今後は)市の事業の進捗に支

障も考えられるため、確実に所有者を把握できる方策を研究する。

Q. 相続登記を促す働きかけをより積極的に行うべきでは？

A. 相続人に相続人代表者指定届を送付する際、相続登記を促す文書を同封するなどの方策を検討し、さらなる周知に努める。

【脳梗塞治療】(病院事務局長答弁)

Q. 市立病院における脳梗塞の診療体制はどのようなものか？

A. 本市救急隊と脳神経外科の当直医との間に直通のホットラインを設けるなど24時間対応できる体制を整えている。

Q. 脳の血管に詰まった血栓を溶かして血流を回復させる「t-PA静注治療法」の症例数は？

A. この治療法は早期に着手できれば後遺症が

残らない可能性があるが、実施には厳しい条件がある。平成26年は6件、27年は1件、28年は4件となっている。

【教育問題】(教育部長答弁)

Q. 不登校が急増しているが背景は？

A. いじめを除く友人関係、学業不振など学校における要因、子供を登校に向かわせることができないなど家庭状況における要因がある。

Q. 「平成30年度までに全国平均を下回ることを目指す」とする学校教育基本計画の目標達成に向けてどう取り組むか？

A. 児童支援中核教諭や教育相談コーディネーターが中心となり集団アセスメントテストの結果も活用するなどあらゆる教育活動を通して不登校を生まない学校づくりに努めている。今後も状況の把握と分析に努め、粘り強い支援に取り組む。

先進的、脱・横並び、柔軟な発想／ニーズ乖離も？

「全国初」事業に長短あり 丁寧な検証必要

大和市は「全国初」「県内初」といった先進的な取り組みが多いです。特に最近、補正予算を組むたびに「全国初」の事業を盛り込んでおり、その傾向が顕著です。

「全国初」の取り組みは、進取の気性に富んでいます。お役所仕事にありがちな前例踏襲、横並び主義にとらわれず、柔軟な思考や発想のもと、積極的に政策立案を行っていることの表れでしょう。時代の先を読んでいるとも言えます。国内で広まっていけば、地方から日本を変えることにもつながります。

その反面、住民にとって必要な取り組みは、既に他の自治体を実施している可能性が高いと考えられます。仮に、メディア受けを狙って「初めてありき」となってしまうと、住民のニーズからかけ離れ、

本末転倒になってしまう懸念もあります。目を引くから無条件で素晴らしいとも限りません。

12月議会では、市側に率直に見解をいただきました。大木哲市長は「市民の皆様にとって必然の道筋と感じていただけるよう市政を運営する」と答えました。

私としては、新規事業を立案す

る際には、斬新か陳腐かよりも、「住民本位」「市民目線」であるかどうかが最重要だと考えます。

「全国初」の事業は議会における審議も初めてとなります。議論の中身は他の参考になるかもしれませんが、一議員として、普段以上に丁寧に検証していきます。

■「全国初」とされる本市の取り組み

実施時期	内容
21年4月	電気を動力とする軽自動車の軽自動車税を5年間免除
24年12月	予防接種のスケジュールを携帯やスマホで確認
27年4月	1歳6カ月児の歯科検診会場で、両親に無料で血液検査
28年9月	災害時のドローン活用で研究機関と協定
29年4月	小5～中3を対象に自転車保険の加入費全額を負担
8月	119番通報時に電柱の管理番号で現在地を把握
11月	徘徊高齢者らの個人賠償責任保険料を負担
30年4月	乳幼児保護者の安否確認メール配信サービス

何かありましたら、遠慮なくご用命ください

市議会議員の一つの大きな役割として、市民の皆様の声を行政に届けるということがあります。本会議場で行う一般質問では、市政全体にかかわる課題を中心に議論や提言をしていますが、細かな地域課題は担当窓口に要望しています。

ご相談で多いのは、薄く



住民の声を届けることで再塗装された桜ヶ丘交差点の横断歩道

なった横断歩道の塗り直しです。神奈川県警が所管していますが、市を介して依頼することもできます。

何でも実現できるわけではありませんが、議員を通じて頼むと対応が多少早くなったりするようです。

皆様に使われてこそその議員です。何かありましたら、遠慮なくご用命いただければと思います。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ

大和市出身／上和田在住

昭和56年 高座みどり幼稚園卒園

62年 西鶴間小学校卒業

平成2年 南林間中学校卒業

5年 中央大学附属高校卒業

10年 上智大学経済学部卒業

26年 産経新聞社を自ら退社

27年 大和市議に初当選

◆市議会等での役職（平成29年5月～）

総務常任委員会委員、基地対策特別委員会委員、広報委員会委員長（旧・議会報編集委員）、市立病院運営審議会委員、平和都市推進事業実行委員

◆その他の活動

自民党大和市連合支部政調副会長・広報局長

大和中央シニアクラブ、大和市倫理法人会

関東若手市議会議員の会（神奈川県代表）、隊友会、

金毘羅神社神輿会など

◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局→社会部→政治部

新春の集い

2月4日（日）の午前11時半から、桜丘コミセンにて、「新春の集い」を開催します。パーティ形式で会費1000円です。是非ご参加ください。